

神奈川県議会議員

青山圭一議会ニュース号外

主張が実現しました！

- リバースオークションの実現⇒15億円削減！(平成23～26年)
- 県補助金の廃止・見直し⇒202件、75億円削減！(平成24～25年)
- 人件費の見直し⇒746億円削減！(平成24～26億円) ※リバースオークション:繰り下げ方式

- 交番・警察署等の警察施設へのAEDの新規設置現⇒670箇所！
- 看護師養成数の増加⇒845名増加！(うち県立92名)(平成23～27年)
- 医師不足の解消⇒地域医療支援センターの27年度中の設置！

- 再生可能エネルギーの増加
⇒43万^{キロワット}KW増加！
(55%増加)(平成24～25年)

- 県立高校の定員目標拡大
⇒900名の拡大！
- 養護学校のスクールバスの増車
⇒24台増車！
(うち新設校3台)(平成25～26年)

- 危険ドラッグ規制条例の制定！
- 振り込め詐欺を徹底的に取り締まります
特殊詐欺プロジェクトチームを県警本部内に
⇒100名体制で設置！
- 迷惑防止条例の改正
⇒ITによる被害や盗撮防止を取り入れました！

- 安全・安心な海岸利用のルールづくり
海岸利用に関するガイドラインの策定
海岸パトロールの実施⇒539回実施！
指導強化される(平成25～26)

☆議会改革

神奈川県議会では超党派による議会改革検討会議等の議論を経て、4年間の任期中に多くの改革を実施しました。

- 議員定数削減を16年振りに実現！
- 政務活動費の透明化！
収支報告書を1円から(全額)インターネットで公開
- 議論の活発化！
本会議での1問1答方式の導入

神奈川県議会議員

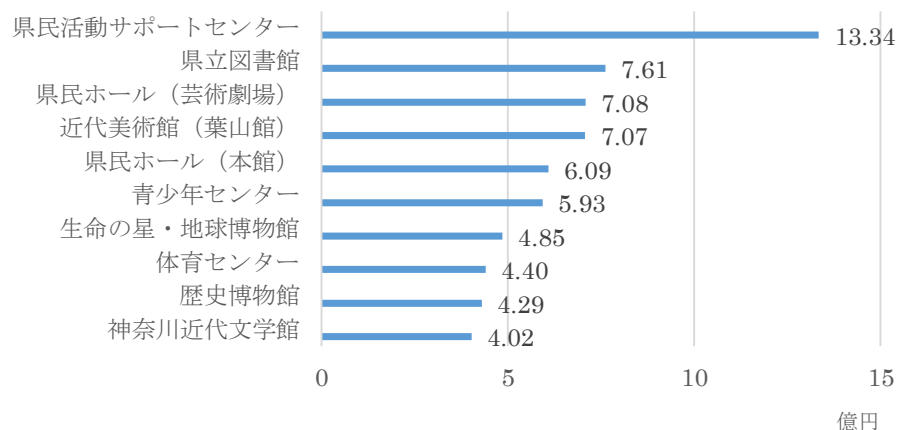
青山圭一 議会ニュース号外

行政・議会改革 増税の前にやるべきことがある

県有施設の中には、年間数億円もの赤字を出しながら、一向にその運営が改善されていないものが多くあります。県は「緊急財政対策」で、こうした施設の廃止・見直しを打ち出しましたが、多くの施設で課題が残っています。

必要性の低い施設は思い切って廃止し、必要性の高い施設も、運営の改善によって赤字を解消・縮小するよう、徹底的な見直しを行う必要があります。

県民利用施設の赤字額(平成25年度決算)



※学校、病院、福祉施設を除く

行政改革を断行します！

○第三セクターの廃止・見直しを進めます

県が税金で出資している特殊法人が多くあります。半官半民のなかで経営が不効率になっています。不用となった団体の廃止や見直しを進めます。

○県組織のスリム化と効率化

タテワリ行政の弊害は深刻です。

県民目線で無駄を排し、効率的な行政運営を目指します。

○赤字県立施設の抜本的見直し

利用率が悪く、かつ赤字の大きい施設があります。

既に役割を終えた施設については、抜本的にそのあり方を見直します。

議会改革を推進します！

○一層の定数削減を実現

少数精鋭の議会を目指します。

○政務活動費の一層の透明化を目指します

○インターネット中継の拡大と開かれた議会を目指します

神奈川県議会議員 青山圭一事務所
214-0038 川崎市多摩区生田 7-6-11-2
TEL 044-930-1357 / FAX 044-930-1358